

今回の ESD のひろばでは「SDG s」をテーマにお話しをしたいと思います。
 皆さんは SDG s という言葉を聞いたことがありますか？
 私たちの身近なところだと今年 10 月の福津市の広報にその言葉がでてきました。



SDG s ってそもそもなに？

SDG s のマーク



この四角のマスは 17 個あります。
 2015 年国連本部でのサミットには 150 力国以上の首脳が集まり「誰も置き去りにしない」を合言葉に、先進国も途上国もこの 17 の目標（ゴール）にむかって世界中で取り組んで、2030 年までに目標を達成して持続可能な社会を作ろう！と取り決めたのが SDG s なのです。

SDG s と ESD って関係あるの？

SDG s と ESD には同じ SD（持続可能な開発）が隠れています。
 これまで ESD と SDG s はお互いに関連しあいながら流れてきました。

東京大学 海洋アライアンスの及川幸彦先生は ESD と SDG s の捉えかたを「Education for SDGs（SDG s のための教育）」と表現されています。そして「ESD なくして SDG s の実現はない、質の高い教育を実施することで SDG s が達成できる」と言われています。

SDG s の 17 の目標はそれぞれが別々の目標ではなく、お互いに関連して相乗効果をもたらします。



SDG s を実際にやっているとこあるの？



福津市広報平成 30 年 10 月

福津市でも SDG s をナビゲーターとして持続可能な町づくりをしようとしています。そして最近報道された世界展開しているコーヒーショップがプラスチックのストローを止めようとする動きは SDG s の目標 14「豊かな海を守ろう」を意識したものなのです。また国連本部でピコ太郎さんが SDG s 版 PPAP を披露したのも記憶に新しいですね。公共、企業、教育などあらゆる分野で SDG s がトレンドとなってきています。

SDG s のより詳しい情報はこちらをご覧ください。

国際連合広報センター

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

外務省

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>